





回数	経営審議会	教育研究審議会	役員会
第4回	(1) 公立大学法人札幌市立大学教職員の給与に関する規程の一部を改正する規程案について	(1) 第四期中期計画の認可申請について (2) デザイン学部アドミッション・ポリシーの改正について (3) 各研究科3ポリシーの変更に ついて	(1) 公立大学法人札幌市立大学教職員の給与に関する規程の一部を改正する規程案について
第5回	(1) 業務方法書の改正について (2) 第四期中期計画の認可申請について	(1) 教員の不再任について	(1) 業務方法書の改正について (2) 第四期中期計画の認可申請について
第6回	(1) 認証評価結果（案）に対する意見申立ての有無について	(1) 教員の不再任について	(1) 部局長人事について
第7回	(1) 2024年度（令和6年度）予算について (2) 契約職員の給与に関する規程等の改正について (3) 広報室長を部局長に位置付けることに伴う関係規程の改正及び人事案について (4) 専任教員・非常勤教員の無期労働契約転換に係る学内規程整備について (5) 授業料及び入学料の免除等に関する規程等の改正について	(1) 認証評価結果（案）に対する意見申立ての有無について	(1) 2024年度（令和6年度）予算について
第8回	—	(1) 部局長人事について	—
第9回	—	(1) 広報室長を部局長に位置付けることに伴う関係規程の改正及び人事案について (2) 専任教員・非常勤教員の無期労働契約転換に係る学内規程整備について (3) 公立大学法人札幌市立大学履修等に関する規則の改正について (4) 札幌市立大学大学院学則及び公立大学法人札幌市立大学大学院デザイン研究科履修等に関する規則の改正について (5) 令和7年度以降入学者看護学部学校推薦型選抜試験の配点の変更について	—



### 3 役員会及び審議会委員名簿（2023年4月1日現在）

#### 1) 役員

役職	氏名	現職
理事長	中島 秀之	学長
理事（常勤）	松浦 和代	副学長
理事（常勤）	小野 聡	事務局長
理事（非常勤）	安田 光春	株式会社北洋銀行 取締役頭取
理事（非常勤）	石垣 靖子	北海道医療大学名誉教授
理事（非常勤）	大友 裕之	公益財団法人札幌市芸術文化財団 副理事長
監事（非常勤）	橋場 弘之	田村・橋場法律事務所（札幌市任命）
監事（非常勤）	谷口 雅子	谷口雅子公認会計士事務所（札幌市任命）

#### 2) 経営審議会委員

役職	氏名	現職
理事長	中島 秀之	
理事	松浦 和代	
理事	安田 光春	株式会社北洋銀行 取締役頭取
理事	大友 裕之	公益財団法人札幌市芸術文化財団 副理事長
事務局長	小野 聡	
学外委員	木村 義広	一般財団法人さっぽろ産業振興財団 専務理事
学外委員	花井 秀勝	フュージョン株式会社 代表取締役会長
学外委員	水落 隆志	札幌商工会議所常務理事・事務局長
学外委員	町野 和夫	北海道大学大学院経済学研究院 教授
学外委員	高橋 久美子	公益財団法人北海道看護協会会長

#### 3) 教育研究審議会委員

役職	氏名	現職
学長	中島 秀之	
理事	松浦 和代	
デザイン学部長	椎野 亜紀夫	
看護学研究科長	菊地 ひろみ	
デザイン研究科長	齊藤 雅也	
附属研究所長	石井 雅博	
附属図書館長	川村 三希子	
事務局長	小野 聡	
学外委員	前田 弘志	バナナムーン・ステュディオ代表
学外委員	石井 知子	札幌市教育委員会委員
学外委員	石垣 靖子	北海道医療大学名誉教授
学外委員	黒宮 裕久	市立札幌平岸高等学校



## 4 経営会議

2023年度は8回の会議を開催した。

会議では、法人の経営及び札幌市立大学の教育研究に関する重要事項について協議を行った。

## 5 部局長会議

回数	開催日	議題
第1回	4月5日	(1) 学内会議等実施報告 (2) サバティカル研修制度の見直しについて
第2回	5月11日	(1) 学内会議等実施報告 (2) サバティカル研修制度の見直しについて (3) 第四期中期計画の文案の確認について
第3回	6月7日	(1) 学内会議等実施報告 (2) 2024年度以降における毎年度の計画と自己点検・評価について (3) 2022年度計画の実績報告に係る自己点検・評価結果について (4) 学部長（研究科長）の選任に係る関係規程の改正等について (5) 2022年度決算について
第4回	7月5日	(1) 学内会議等実施報告 (2) 生成系AIツールの授業における利用について
第5回	7月20日	(1) 2022事業年度の実績報告に係るヒアリング回答（案）について
第6回	8月3日	(1) 札幌市地方独立行政法人評価委員会の評価結果（案）に対する意見の有無について
第7回	9月6日	(1) 学内会議等実施報告 (2) 第四期中期目標（案）に対する意見の有無について (3) 第四期中期計画（案）について (4) 地域連携研究センターの名称変更に伴う規則・規程改正について (5) 学部長（研究科長）の選任に係る関係規程の改正等について (6) 退職手当規程の改正について
第8回	10月4日	(1) 学内会議等実施報告 (2) 第四期中期計画（案）及び策定スケジュールについて (3) 令和7年度以降各学部一般選抜に係る公表内容の変更について (4) 道内最低賃金の引き上げに伴う契約職員給与の改定について
第9回	11月1日	(1) 学内会議等実施報告 (2) 第四期中期計画（案）について (3) デザイン学部アドミッション・ポリシーの変更について
第10回	12月6日	(1) 学内会議等実施報告 (2) 地方独立行政法人法改正への対応について (3) 第四期中期計画の認可申請について (4) 各研究科3ポリシーの変更について
第11回	1月11日	(1) 学内会議等実施報告
第12回	2月7日	(1) 学内会議等実施報告 (2) 履修等に関する規則の改正について (3) 令和7年度以降入学者に係る看護学部入学者選抜試験（学校推薦型選抜）の変更について (4) 契約職員の給与に関する規程等の改正について (5) 認証評価結果（案）に対する意見申立ての有無について
第13回	3月6日	(1) 学内会議等実施報告 (2) 大学院学則及びデザイン研究科履修等に関する規則の改正について (3) 無期労働契約転換に係る学内規程整備について (4) 広報室長を部局長とするための関係規定整備について (5) 知的財産委員会規程の廃止について



## 6 企画室

企画室は、全学ポリシーの策定に関すること、教育改革に関することについて企画・立案し、経営会議へ提案する組織である。2023年度の会議の開催数は11回であった。

主な活動として、新学部等の設置検討を経て、リベラルアーツセンター（仮称）の設置に向けた検討を行った。

## 7 広報室

広報室は、主に広報戦略の推進に関する事項等を所管している。2023年度の会議の開催数は12回であった。

主な活動として、2024年度版大学案内パンフレットの発行及び2025年度版大学案内パンフレットの検討・制作のほか、大学公式ウェブサイトの管理・更新を行った。また、北海道新聞への広告掲載やJRタワーピラービジョンへの広告掲出、学生広報委員会による広報誌SCUZINEの発行などを行った。

## 8 教授会

### 1) デザイン学部教授会

デザイン学部教授会は、2023年度に13回開催し、教育課程の編成、学生の入学・在籍、学生支援、その他学部の教育等に関する事項などについて、幅広く審議を行った。

また、教授会終了後には、毎回、各学内委員会及び学部委員会からの報告を行う教員会議を開催した。

### 2) 看護学部教授会

看護学部教授会は、2023年度に臨時教授会1回を含む13回開催し、教育課程の編成、学生の入学・在籍、学生支援、進級卒業判定及びその他学部の教育研究等に関する事項などについて、幅広く審議を行った。また、助産学専攻科における教育課程の編成、修了判定及びその他専攻科の教育研究に関する事項などについても本教授会において、幅広く審議を行った。

なお、本教授会において、各学内委員会及び学部委員会からの報告も行った。

### 3) デザイン研究科教授会

デザイン研究科教授会は、2023年度に14回開催し、教育課程の編成、学生の入学・在籍、学生支援、その他研究科の教育等に関する事項などについて、幅広く審議を行った。

### 4) 看護学研究科教授会

看護学研究科教授会は、2023年度に臨時教授会4回を含む16回開催し、教育課程の編成、学生の入学・在籍、学生支援、修了判定及びその他研究科の教育研究等に関する事項などについて、幅広く審議を行った。また、各学内委員会等からの報告も行い、必要に応じて看護学研究科科目担当専任教員を構成員とする拡大会議として開催した。

## 9 地域連携研究センター

運営会議（計12回）の開催に加え、地域・産学連携部門、国際交流部門の2セクションに構成員を配置し、公開講座、地域貢献事業、産学連携事業、国際交流活動、知的財産管理、研究活動推進に関する活動、まこまないキャンパスに係わる事業を実施した。主な活動内容は以下のとおりである。



### <公開講座>

大学が持つ知的資源をデザイン・看護の視点に基づき地域に還元し、地域の産業、まちづくり、保健・医療・福祉等への貢献をすることを目的として、公開講座を開催した。専門職業人や市民を対象とした17コース29コマの講座を、延べ836名が受講した。また、ちえりあとの連携講座として延べ78名が受講した。さらに、今年度も北海道立総合研究機構との共催講座「知活（ちいき）ゼミナール」を開催。YouTubeで配信し、延べ851名が視聴した。

### <地域・産学連携>

地域からの協力要請に対して、教員・学生が教育・研究の成果を地域に還元するため、地域連携活動への協力を行った。また、教員の研究成果を学外に周知し産学官金連携のきっかけを探るために、「ものづくりサステナフェア」「ビジネスEXPO」等の展示会へ出展したほか、SCU産学官金研究交流会を開催するなど、更なるネットワークづくりを図った。

### <国際交流>

国際化に関する基本方針および行動計画に基づき、下記のとおり推進した。

#### 「学生の国際化」

COVID-19以降中止となっていた日台デザイン合同ワークショップが、雲林科技大学で開催され、本学デザイン学部学生6名ならびに教員1名が参加した。華梵大学及び台中科技大学、日本から札幌大谷大学が参加し、有益な交流が図られた。

デザイン学部学生7名と教員3名が、アメリカ・ポートランド市にあるPacific Northwest College of Art (PNCA)、ウィラメット大学を訪問し、ワークショップを行った。PNCAの学生と交流を深め、ポートランド市内でフィールドワークを実施し、帰国後に、成果報告発表会を札幌市内で開催した。

提携校ではないが、オーストラリアのクイーンズランド大学等の学生とオンライン留学体験を実施し、デザイン学部学生3名ならびに看護学部学生1名が交流を行った。

2022年度に引き続き、医療通訳者から見た外国人患者支援に関するオンラインセミナーを実施し、看護学部学生4名ならびに教員5名が参加した。

#### 「教職員の国際化」

学術奨励研究において、教員の国際学会・国際展示会への発表に関わる補助制度、国際学会誌への投稿を促進する補助制度を実施した。

#### 「提携校との交流の活性化」

台中科技大学との学術交流協定を更新した。同校との学生交流協定に基づき、特別聴講生2名を受け入れた。

ラップランド大学との学生交流協定に基づき、交換留学生1名を派遣した。

PNCA、ウィラメット大学との学生交流協定の締結を検討するため、学部長や国際交流担当教員と意見交換を行った。

#### 「海外とのネットワーク化」

台中科技大学との学術交流協定を更新した。

### <知的財産>

学内の知的財産に係わる管理・運営を行った。イノベーションジャパンへの知的財産シーズ出展などの活動を行った。また、「北海道地域大学等知的財産部門連絡会議」（1回）に参加し、知的財産戦略に関する情報交換等を行った。

### <研究推進>

地域や産業界等から依頼された受託研究8件、共同研究11件の受入れを行ったほか、前年度に改善



した学内競争的研究費（学術奨励研究費・共同研究費・田村ICT基金）制度を実施した。また、両学部  
の教員の交流を図るため研究交流会を企画・実施した。

## 10 AITセンター

AITセンターでは、AIやIT（情報技術）を活用し、地域の課題解決や行政の効率化を目指している。

2023年度の主な活動として、共同研究5件を受け入れ研究に取り組んだ他、市立高校への出張講義  
や学外講演の実施、公式ウェブサイトにおいて札幌市中心部の人流データの定期配信等を行った。

## 11 附属図書館

2023年度は全10回運営会議を開催し、附属図書館の運営に係る事項について協議を行った。主な  
協議内容は、図書館サービス、図書館予算、データベース・電子ジャーナル・購読雑誌の契約検討、  
除却、等であった。

SCUジャーナル編集ワーキングでは、研究論文集「SCU Journal of Design & Nursing 第17巻」  
を2023年9月に発行した。また、第18巻発行に向けて、投稿論文の査読を開始した。

## 12 アドミッションセンター

アドミッションセンターは、2023年度に9回の会議を開催し、前年度の入試結果の分析、高校訪  
問・進学相談会の実施計画の策定、入試区分ごとの学生募集要項・選抜試験実施要領に関する審議、  
入学者選抜試験に係る現状分析を行った。

また、学生募集に係る具体的な取組として、オープンキャンパス、大学・大学院等説明会及び高校  
訪問等を企画・実施した。

## 13 教育支援プロジェクトセンター

教育支援プロジェクトセンターは、文部科学省の補助事業や公的機関が実施する事業に関するプロ  
ジェクト等を所管しており、「サードレベル部門」「看護コンソーシアム部門」を設け、各部門にお  
いて活動を行った。

## 14 情報基盤センター

情報基盤センターの2023年度は11回の会議を行い、情報セキュリティポリシーの啓発活動とし  
て、情報セキュリティに関するFD研修会の実施及び情報セキュリティに関する自己点検を行った。

その他の活動としては、学内のDX推進に向けて、他大学への視察、大学ICT推進協議会への参加  
及びMicrosoft365を用いた内製開発ハンズオンを実施した。また、認証基盤システムの検討・整備、  
外部業者による情報システム点検を実施した。



## 15 学内委員会

### 1) 自己点検・評価委員会

自己点検・評価委員会は、主に認証評価や中期計画及び年度計画の進捗管理に関する事項等を所管しており、2023年度は7回開催した。

2023年度の主な活動として、第四期中期計画における自己点検・評価の在り方の検討や2022年度計画の実績報告書（案）の作成を行ったほか、2023年度計画について半期の取組状況の進捗管理を行った。

### 2) 教員評価委員会

2023年度は委員会を6回開催した。各教員から提出された教員活動実績申告書の確認作業や教員評価書の作成作業を行うとともに、次年度に向けた記入要領及び申告書様式等の検証を行った。評価結果については、2023年度末に任期満了を迎える教員の再任審査の資料として活用した。

### 3) 総務委員会

2023年度は委員会を11回（メール会議5回を含む）開催した。昨年に引き続き、学内の防災訓練関係、学生を対象とした安否確認訓練、夏季及び冬季の節電対策を実施した。

また、保全並びに修繕に関する工事関係等についても検討を行い実施した。

### 4) FD委員会

FD委員会は、2023年度に7回開催し、教員の資質向上、FDに関する情報の共有化・情報収集のため、他部署からの企画も含め学内研修会の開催及び学外研修会への教員派遣等を行ったほか、授業評価アンケートの集計結果に対する教員所見のとりまとめを行った。

### 5) 倫理委員会

倫理委員会では、申請された研究計画の倫理的配慮が充分であるか否かについて、人権擁護の観点に基づき審査を行っている。

2023年度は、原則、毎月第4水曜日に委員会を開催した（計11回開催）。

2012年度から始めた審査方法として、審査資料の事前確認を行い、申請者へ委員のコメントを送付し、最終版の申請書及び資料の提出を委員会開催までに求めている。この審査方法の採用により、審査時間の短縮化、審査申請から研究開始までの迅速化を図っていたが、更に迅速審査を含めて効率化ならびに迅速化を図るため、2020年度から新様式、新審査フローを導入した。

年間の審査申請総数は45件あり、1回当たり平均4.09件の審査を実施した。

審査結果は「承認」、「条件付承認」、「再提出」、「不承認」、「非該当」のいずれかで判定した。

審査の社会的透明性及び客観性を担保すると同時に、申請者や委員に係るリスク管理の保全のため、2011年度から継続して弁護士1名に外部委員として委嘱し、委員会を組織している。

2014年12月告示の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（文部科学省・厚生労働省）に基づき、2015年度から人を対象に介入・侵襲を伴う医学系研究の倫理審査を扱う特別審査部門を設置した。この指針において、倫理審査委員会の成立要件として、構成員は「倫理審査委員会の設置者の所属機関に所属しない者が複数含まれていること」とされていることから、この特別審査部門の外部委員として、前述の弁護士に加え、医師1名を追加で委嘱した（2023年度は、特別審査部門の開催は0回）。

### 6) 利益相反委員会

利益相反委員会は、産学官連携活動において大学と教職員等が利益相反の疑いを持たれることを防ぎ、大学の社会的信頼の維持を目的として、2016年度に設置された。

2023年度は該当する案件がなかったことから委員会は開催しなかった。



## 7) 教務・学生連絡会議

教務・学生連絡会議は、2023年度に10回開催し、学際教育、デザイン・看護両学部の連携教育に関する事項及び学生生活、課外活動支援に関する事項等について審議した。

具体的には、学事暦、時間割、シラバス、定期試験及び授業評価アンケートに関すること、また、奨学金、大学祭、チューター制度に関すること等について審議した。また、両学部の教務委員会及び学生支援委員会から教務及び学生支援に関する課題を報告し、両学部の情報を共有した。

## 8) 研究科教務・学生連絡会議

研究科教務・学生連絡会議は、2023年度に3回開催し、デザイン・看護学両研究科の連携教育に関する事項、研究科連携科目に関する事項、院生研究支援費に関する事項及び学生生活に関する事項等について審議した。



## 16 構成員名簿（2023年4月3日時点）

区分	委員会等	委員・構成員	
		教職員名	所属・職位等
	経営会議	◎中島 秀之 松浦 和代 小野 聡	理事長 副学長 兼 看護学部長 事務局長
	部局長会議	◎中島 秀之 松浦 和代 椎野 亜紀夫 齊藤 雅也 菊地 ひろみ 石井 雅博 川村 三希子 大淵 一博 高橋 尚人 小野 聡	理事長 副学長 兼 看護学部長 デザイン学部長 デザイン研究科長 看護学研究科長 地域連携研究センター長 附属図書館長 情報基盤センター長 AITセンター長 事務局長
	企画室	◎中島 秀之 松浦 和代 椎野 亜紀夫 齊藤 雅也 菊地 ひろみ 小野 聡	理事長 副学長 兼 看護学部長 デザイン学部長 デザイン研究科長 看護学研究科長 事務局長
	広報室	◎若林 尚樹 大島 卓 金子 晋也 横溝 賢 荒木 奈緒 原井 美佳 伊東 健太郎 武富 貴久子 小野 聡	デザイン学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 助産学専攻科長 看護学部准教授 看護学部講師 看護学部講師 事務局長
	人事委員会	◎中島 秀之 松浦 和代 椎野 亜紀夫 齊藤 雅也 菊地 ひろみ 高橋 尚人 小野 聡	学長 副学長 兼 看護学部長 デザイン学部長 デザイン研究科長 看護学研究科長 AITセンター長 事務局長
	キャンパス・ハラスメント防止委員会	◎中島 秀之 松浦 和代 椎野 亜紀夫 齊藤 雅也 菊地 ひろみ 小野 聡	学長 副学長 兼 看護学部長 デザイン学部長 デザイン研究科長 看護学研究科長 事務局長
	利益相反委員会	◎中島 秀之 松浦 和代 小野 聡	理事長 副学長 兼 看護学部長 事務局長



区分	委員会等	委員・構成員	
		教職員名	所属・職位等
	地域連携研究センター	◎石井 雅博 武田 亘明 張 浦華 並木 翔太郎 石田 勝也 福田 大年 松永 康佑 卯野木 健 小田 和美 檜山 明子 岡 園代 黒田 紀子 矢野 祐美子 田仲 里江 高橋 嗣仁	地域連携研究センター長 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部講師 デザイン学部講師 デザイン学部講師 看護学部教授 看護学部教授 看護学部准教授 看護学部講師 看護学部講師 看護学部講師 看護学部助教 事務局地域連携課地域連携係長
	図書館	◎川村 三希子 松井 美穂 片山 めぐみ 金 秀敬 松永 康佑 加藤 依子 牧野 夏子 栗原 知己 高橋 嗣仁	附属図書館長 デザイン学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部講師 看護学部准教授 看護学部准教授 看護学部助教 事務局地域連携課地域連携係長
	教育支援プロジェクトセンター	◎松浦 和代 佐藤 ひとみ 樋之津 淳子 須藤 陽子	副学長 兼 看護学部長 看護学部教授 看護学部教授 事務局次長 兼 桑園事務室長 兼 経営企画課長
	アドミッションセンター	◎松浦 和代 椎野 亜紀夫 齊藤 雅也 柿山 浩一郎 藤木 淳 丸山 洋平 金子 晋也 横溝 賢 喜多 歳子 菅原 美樹 工藤 京子 山本 真由美 福原 啓祐 布廣 成規	副学長 兼 看護学部長 デザイン学部長 デザイン研究科長 デザイン学部教授 デザイン学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 看護学部教授 看護学部准教授 看護学部講師 看護学部講師 事務局学生課長 事務局桑園事務室課長補佐



区分	委員会等	委員・構成員	
		教職員名	所属・職位等
	情報基盤センター	佐藤 ひとみ 本田 光 ◎大淵 一博 吉田 彩乃 伊関 洋	看護学部教授 看護学部准教授 情報基盤センター長 デザイン学部助教 総務課長
学内委員会 常置委員会	自己点検・評価委員会	松浦 和代 椎野 亜紀夫 齊藤 雅也 ◎石井 雅博 菊地 ひろみ 川村 三希子 小野 聡	副学長 兼 看護学部長 デザイン学部長 デザイン研究科長 地域連携研究センター長 看護学研究科長 附属図書館長 事務局長
	教員評価委員会	◎松浦 和代 椎野 亜紀夫 齊藤 雅也 菊地 ひろみ 樋之津 淳子 高橋 尚人 小野 聡	副学長 兼 看護学部長 デザイン学部長 デザイン研究科長 看護学研究科長 看護学部教授 AITセンター長 事務局長
	総務委員会	若林 尚樹 武田 亘明 大淵 一博 佐藤 ひとみ 村松 真澄 石引 かずみ ◎小野 聡	デザイン学部教授 デザイン学部准教授 情報基盤センター長 看護学部教授 看護学部准教授 看護学部講師 事務局長
	FD委員会	◎細谷 多聞 小宮 加容子 張 浦華 貝谷 敏子 定廣 和香子 鬼塚 美玲 福原 啓祐 布廣 成規	デザイン学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 看護学部教授 看護学部教授 看護学部講師 事務局学生課長 事務局桑園事務室課長補佐
	倫理委員会	◎川村 三希子 細谷 多聞 森 朋子 矢久保 空遥 高橋 奈美 三戸部 純子 市戸 優人 高橋 嗣仁	附属図書館長 デザイン学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部助教 看護学部准教授 看護学部講師 看護学部助教 事務局地域連携課地域連携係長
	看護学部卒業研究部会	原井 美佳 武富 貴久子 平山 憲吾	看護学部准教授 看護学部講師 看護学部助教



区分	委員会等	委員・構成員	
		教職員名	所属・職位等
連絡調整会議	学部間 教務・学生連絡会議	松浦 和代 ◎椎野 亜紀夫 柿山 浩一郎 藤木 淳 松井 美穂 貝谷 敏子 喜多 歳子 福原 啓祐 布廣 成規	副学長 兼 看護学部長 デザイン学部長 デザイン学部教授 デザイン学部教授 デザイン学部教授 看護学部教授 看護学部教授 事務局学生課長 事務局桑園事務室課長補佐
	研究科間 研究科教務・学生連絡会議	齊藤 雅也 三谷 篤史 ◎菊地 ひろみ 荒木 奈緒 福原 啓祐 布廣 成規	デザイン研究科長 デザイン学部教授 看護学研究科長 助産学専攻科長 事務局学生課長 事務局桑園事務室課長補佐
衛生委員会	芸術の森事業所衛生委員会	森 朋子 ◎須藤 陽子 安藤 貴之 山田 しおり	デザイン学部准教授 事務局次長 兼 桑園事務室長 兼 経営企画課長 事務局総務課庶務係員 事務局総務課庶務係員
	桑園事業所衛生委員会	近藤 圭子 西川 めぐみ ◎須藤 陽子 松本 佳代	看護学部助教 看護学部助教 事務局次長 兼 桑園事務室長 兼 経営企画課長 桑園事務室学生支援係員
学部委員会	デザイン学部 教務委員会	◎藤木 淳 金 秀敬 小林 重人 並木 翔太郎 森 朋子 大淵 一博 須之内 元洋 矢久保 空遥	デザイン学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 情報基盤センター長 デザイン学部講師 デザイン学部助教
	学生支援委員会	◎柿山 浩一郎 松井 美穂 小宮 加容子 張 浦華 御手洗 洋蔵 石田 勝也 福田 大年 坪内 健	デザイン学部教授 デザイン学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部講師 デザイン学部講師 デザイン学部助教



区分	委員会等	委員・構成員	
		教職員名	所属・職位等
学部委員会	デザイン学部	◎西川 忠 若林 尚樹 片山 めぐみ 山田 信博 松永 康佑 吉田 彩乃	デザイン学部教授 デザイン学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部講師 デザイン学部助教
	教務委員会	◎貝谷 敏子 加藤 依子 菅原 美樹 原井 美佳 本田 光 伊東 健太郎 岡 園代 工藤 京子 黒田 紀子 武富 貴久子 三戸部 純子 矢野 祐美子 坂本 結城 平山 憲吾 高橋 葉子	看護学部教授 看護学部准教授 看護学部准教授 看護学部准教授 看護学部准教授 看護学部講師 看護学部講師 看護学部講師 看護学部講師 看護学部講師 看護学部講師 看護学部講師 看護学部助教 看護学部助教 看護学部助手
	看護学部	◎喜多 歳子 村松 真澄 守村 洋 石引 かずみ 鬼塚 美玲 牧田 靖子 山出 誓子 市戸 優人 久保田 祥子 西川 めぐみ 吉田 実和	看護学部教授 看護学部准教授 看護学部准教授 看護学部講師 看護学部講師 看護学部講師 看護学部特任講師 看護学部助教 看護学部助教 看護学部助教 看護学部助教
	キャリア支援委員会	◎樋之津 淳子 小田 和美 檜山 明子 牧野 夏子 山本 真由美 大友 舞 栗原 知己 渋谷 友紀 田仲 里江	看護学部教授 看護学部教授 看護学部准教授 看護学部准教授 看護学部講師 看護学部助教 看護学部助教 看護学部助教 看護学部助教



区分	委員会等	委員・構成員	
		教職員名	所属・職位等
研究科委員会	デザイン研究科 教務・学生支援委員会	◎三谷 篤史 大島 卓 森 朋子 山田 信博 横溝 賢	デザイン学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授
		金 秀敬 小宮 加容子 ◎丸山 洋平 須藤 陽子	デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 事務局次長 兼 桑園事務室長 兼 経営企画課長
	看護学研究科 教務・学生支援委員会	◎荒木 奈緒 定廣 和香子 原井 美佳 守村 洋	助産学専攻科長 看護学部教授 看護学部准教授 看護学部准教授
		◎喜多 歳子 高橋 奈美 牧野 夏子 須藤 陽子	看護学部教授 看護学部准教授 看護学部准教授 事務局次長 兼 桑園事務室長 兼 経営企画課長

◎印：所管部局長等

## 17 FD・SD活動

### FD活動 年間活動概要（学内研修会）

（単位：名）

全学FD	研修会名	参加者数
7月19日	本学の情報セキュリティポリシーについて	133
7月31日	WEBサイトリニューアル後の改善と記事投稿の仕方について	53
8月3日	2023年度渡航前危機管理オリエンテーション	24
8月8日	科研費獲得ランチョンセミナー 科研費獲得の事例～デザイン分野～	31
8月8日	科研費獲得ランチョンセミナー 科研費獲得の事例～看護分野～	31
8月22日	2023年度札幌市立大学研究交流会	68
11月16日	公立大学における合理的配慮に関する考え方とその対応について	47
3月7日	2023年度 デジタル推進事業の報告について	47
3月21日	ハラスメント防止セミナー	38
3月25日	SCUの連携教育を振り返る	20

（単位：名）

デザイン学部・研究科FD	研修会名	参加者数
5月17日	生成系AIの概要と授業における活用例	45
11月15日	札幌市立大学デザイン学部教職員における学びの提供の観点からのメンタルヘルス対応	49
2月21日	デザイン学部での合理的配慮の考え方とシラバス執筆事例	43



(単位：名)

看護学部・ 研究科FD	研修会名	参加者数
6月21日	若者の市販薬乱用の実態と課題	45
1月17日	DVとは何か、当事者にも傍観者にもならないために	31
3月1日	今どきの学生への模擬患者参加型学習の意味	60
3月21日	本学実習インシデント・アクシデントレポートの実態報告	30

## SD活動 年間活動概要

(単位：名)

日付	研修名	形態	受講者数
通年	障害者差別解消法に関する研修	札幌市立大学	34
4月3日	新採用向けシステム説明会	札幌市立大学	6
4月13日	採用者レク（総務、経営企画、地域連携、学生）	札幌市立大学	6
4月14日	採用者レク（桑園）	札幌市立大学	6
4月20日	公立大学に関する基礎研修	学外	7
7月8日	教務系職員初任者向け講習会	学外	1
8月18日	ファシリテーション研修	学外	1
8月25日	情報セキュリティポリシー研修	札幌市立大学	133
8月28日～29日	令和5年度公立大学職員セミナー	学外	1
8月31日～9月1日	令和5年度公立大学法人会計セミナー	学外	1
9月1日～2日	北海道FD・SDフォーラム	学外	2
9月21日	経理担当者研修（レベルアップ編）	学外	1
10月12日	レジリエンス研修～しなやかにストレスと向き合い、回復力を身につける	学外	1
10月19日	コミュニケーション研修～相手目線で考え、良好な人間関係を築く	学外	1
10月20日	仕事の実行力研修～『自律』『協働』『目的意識』で仕事を前に進める	学外	1
10月27日	理論とデータから学ぶ大学組織論	学外	1
11月6日～8日	令和5年度（初級）知的財産権研修（第2回）	学外	1
11月15日	改正障害者差別解消法に係る説明会	学外	1
11月20日	高等教育政策の動向を法令・制度・歴史・組織の視点で整理する～自分の力で理解するために～	学外	1
11月28日	論理的で分かりやすい文章の書き方研修	学外	1
11月28日～29日	フライス盤加工技術訓練講習	学外	1
12月12日	40代向けキャリアデザイン研修～ワーク・ライフ・マネーを考える	学外	1
2024年2月6日	交渉力向上研修～ネゴシエーションスキルを上達させる	学外	1
2月13日	職場におけるハラスメントトラブルと企業対応セミナー	学外	1
2月16日	令和5年度教学に関するセミナー	学外	3
2月19日	大学におけるハラスメントの防止対策に関する教職員セミナー	学外	12
3月21日	ハラスメント防止セミナー	札幌市立大学	38